

テレビ (液晶・プラズマ)

掲載製品

交流の回路を使用する液晶テレビ、プラズマテレビを掲載しています。受信機型が10V型以下の製品、パソコン用ディスプレイでテレビ機能を有するもの、ワイヤレス方式のもの、受注生産品、特殊仕様品等は対象外です。

区分

テレビサイズによって区分を行っています。

10V型以上20V型未満	20V型以上30V型未満	30V型以上40V型未満
40V型以上50V型未満	50V型以上60V型未満	60V型以上

一覧表の各種表示について

● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、液晶テレビ、プラズマテレビの目標年度は2012年度です。

● ラベル印刷

多段階評価制度、省エネラベリング制度、年間電気代を表示した統一省エネラベルを印刷できます。

● 多段階評価

省エネルギーラベリング制度の省エネ基準達成率を用いて、省エネ性能を5段階の(★)の数で表示するものです。対象機器はエアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座、照明器具(蛍光灯器具のうち家庭用に限り)です。

液晶テレビまたはプラズマテレビ多段階評価

多段階評価	省エネルギー基準達成率
★★★★★	246%以上
★★★★	198%以上246%未満
★★★	149%以上198%未満
★★	100%以上149%未満
★	100%未満

● 省エネルギーラベリング制度

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準(トップランナー基準)を達成しているかどうかをラベル(省エネルギーラベル)に表示するものです。

● 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した(省エネ基準達成率100%以上)製品についてはグリーンのマーク(●e)が表示され、未達成(省エネ基準達成率100%未満)の製品についてはオレンジ色のマーク(○e)が表示されます。

● 省エネ基準達成率(%)

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。液晶テレビ、プラズマテレビそれぞれについて、テレビサイズや付加機能等により分けられた区分ごとに、目標基準値算定式が設定されています。

● エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器毎に定められています。テレビは年間消費電力量(kWh/年)で表します。

● 年間消費電力量(kWh/年)

一般家庭での1日あたりの平均視聴時間4.5時間、平均待機時間(EPG取得時間を含む)19.5時間を基準に算出した数値を整数で表示しています。

年間消費電力量(kWh/年) = {消費電力(W) × 1 × 4.5(時間/日) × 365(日) + 待機時消費電力(W) × 2 × 19.5(時間/日) × 365(日)} / 1000

※1 省エネ法で規定されている測定法による電力で、通常使用している時の電力です。一覧表に掲載されている消費電力ではありません。

※2 主電源オフ時の電力とリモコンで電源を切った時の電力の平均です。

● 1年間の目安電気料金(円)

1kWhあたり27円(税込)(公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価)として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

$$1年間の目安電気料金(円) = \text{期間消費電力量(kWh)} \times 27 \text{ (円/kWh)}$$

● テレビサイズ(型)

表示画面の対角外形寸法（画面周辺のテレビ枠に見えない部分を含む）を計測し、インチ（1隠値=2.54cm）で表した数値です。

● 液晶テレビの動画表示速度

1秒間に60コマ以上120コマ未満の静止画を表示するノーマルと、1秒間に120コマ以上240コマ未満の静止画を表示する倍速、1秒間に240コマ以上の静止画を表示する4倍速があります。

プラズマテレビは4倍速です。

● 定格消費電力(W)

電気用品安全法により決められた測定方法にて測定した電力です。

● 待機時消費電力(W)

リモコンで電源を切った状態の時に消費する電力です。

● デジタル放送受信対応

デジタル放送（地上・BS・110度CS デジタル放送）を受信するのに必要なデジタルチューナーを内蔵しています。

● 画素数

画素数は、「水平方向の画素数×垂直方向の画素数」で表記され、一般的に画素数が多いほど、きめ細かくより自然に近い画質が得られます。FHD（フルHD）とは、垂直方向の画素数が1080以上かつ水平方向の画素数が1920以上のものをいいます。

● DVD

DVDレコーダー内蔵のものをいいます。

● HDD

ハードディスクドライブ内蔵のものをいいます。

● ダブルデジタルチューナー

同一のデジタル放送受信チューナーが2つ以上あることをいいます。

● BD

ブルーレイディスクレコーダー内蔵のものをいいます。

● 年間消費電力量測定時の画質モード

液晶テレビ、プラズマテレビでは、省エネ法により年間消費電力量を測定する際の画質モードを工場出荷時の状態（使用者が最初に電源を入れた時「標準状態モード」を選択できる機種については、標準状態（メーカー推奨状態））にて行うよう決められています。

● 本サイト掲載日

製品の登録日を掲載し、機種名(型番)の前に「New」を付けて、掲載日より1ヶ月表示します。並べ替え機能で新着情報を上から順に並べ替えることができます。

● 更新日

製品情報に修正が入った際の更新日を掲載し、機種名(型番)の前に「Update」を付けて、更新日より1ヶ月表示します。ただし、本サイト掲載日から1ヶ月以内の更新は、「New」が優先されます。並べ替え機能で更新日順に並べ替えることができます。

● JANコード

国際的な共通商品コードです。13桁の数字で表示し、その商品がどこの国の、どこの企業の、どの商品であるかを識別できます。

Q&A

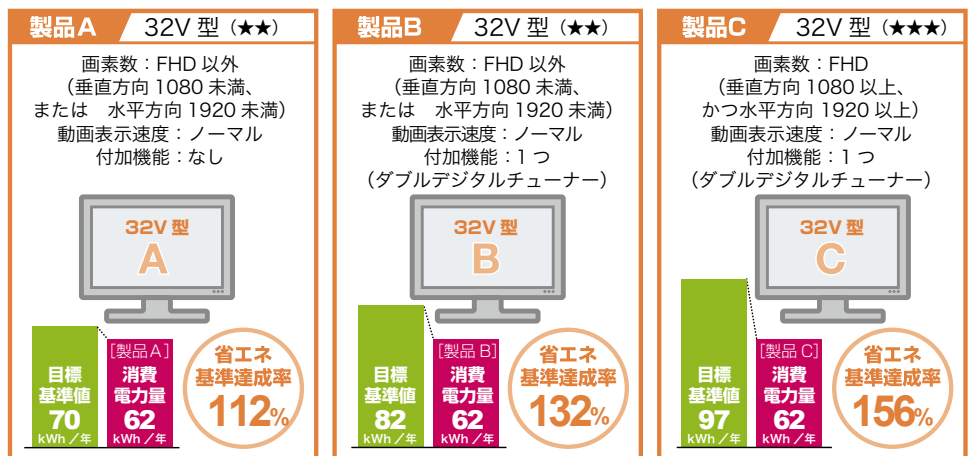
年間消費電力量が同じなのに、省エネ基準達成率(★の数)が異なる製品があるのは、なぜですか？

▶テレビの場合、省エネ基準達成率を算出するためのトップランナー基準の目標値はテレビの画面サイズ、画素数、動画表示速度、付加機能などにより分けられた区分毎に定められており、高機能を有する機器ほど目標基準値が大きくなります。

このため、年間消費電力量が同じでも、画素数や付加機能によって省エネ基準達成率が異なります。

*テレビのトップランナー基準は、付加機能などにより、ブラウン管テレビで20区分、薄型テレビ（液晶テレビ・プラズマテレビ）で64区分され、それぞれの区分毎に目標基準値または目標基準算定式が定められています。

■ 製品A、B、C（液晶テレビ32V型 年間消費電力量62kWh/年）の場合



年間消費電力量は同じなのに、製品Cが最も省エネ基準達成率は高い。

▶高機能な機器ほど、目標基準値が大きいため。

製品A、B、Cが該当する区分が異なり、目標基準値算定式も異なっています。
製品A：E=6.6S-141 製品B：E=6.6S-129 製品C：E=6.6S-99
<E:目標基準値 (kWh/年)、S:テレビサイズ>

上手な選び方

部屋の広さやテレビの視聴のしかたによって、画面の大きさや機能を選びましょう。

年間消費電力量

省エネ法に基づいて家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。一般的に、テレビサイズが大きくなる、あるいは複数の機能を備えるほど、年間消費電力量は大きくなります。

省エネ基準達成率

画面の大きさや機能（動画表示速度、画素数、録画機能等）が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性が優れ、年間電気料金も安くなります。テレビサイズや付加機能等により分けられた区分毎に、それぞれ目標基準値算定式が設定されています。

例えば、32V型FHD（フルHD）、動画表示速度「倍速」で付加機能が1つ、年間消費電力量が90kWh/年の場合は★2つになります。

$$\text{算定式: } (6.6 \times 32 - 99) \div 90 = 124\%$$

同じ条件で付加機能が3つの場合は★3つです。

$$\text{算定式: } (6.6 \times 32 - 75) \div 90 = 151\%$$

多機能製品は★の数を目安に選ぶとよいでしょう。

画面の大きさ（テレビサイズ）

画面が大きいと見やすく迫力がありますが、部屋の大きさに合わせて選ぶようにしましょう。一般に、視聴距離は液晶・プラズマテレビの場合、画面の高さの3～4倍程度が推奨されています。

機能

ダブルデジタルチューナーのもの、HDD・DVD・BD内蔵など録画機能を有するものがあります。また、明るさセンサー、オフタイマー、無操作自動オフ、無信号自動オフ等の省電力機能を搭載した機種も多くあります。

待機時消費電力

主電源を切らないと、テレビ本体がリモコンによる指示待ちや機能を働かせるために、わずかに電力を使用します。待機時消費電力は機能維持や指示待ち状態の電力を表し、この値が少ない製品を選ぶと、待機時消費電力を削減することができます。

上手な使い方

使い方しだいで、テレビを楽しみながら消費電力量を減らすことができます。

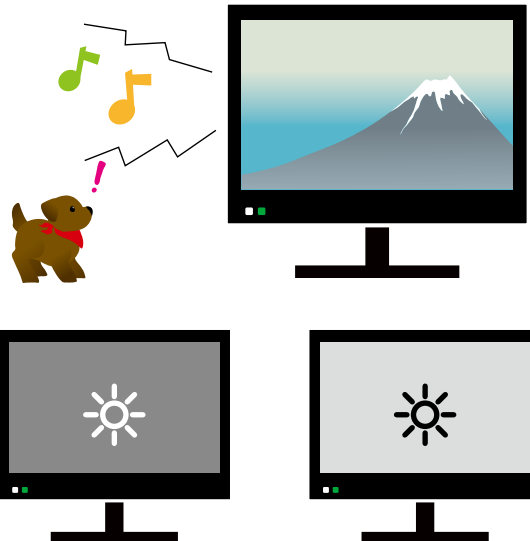


画面はほこりがつきやすく、ほこりがあると暗く見えます。1週間に1度は乾いた柔らかい布（表面に傷が付かないよう配慮された専用クロスなど）でふきましょう。



見ていないテレビは、こまめに消しましょう。

必要以上に画面を明るくしたり、音を大きくするのは、電力の無駄使いです。



部屋の明るさに合わせた適切な明るさで視聴しましょう。明るさセンサーがある機種では、明るさセンサーをONにすると、部屋の明るさに合わせて、適切な明るさとなるよう自動的に設定されます。

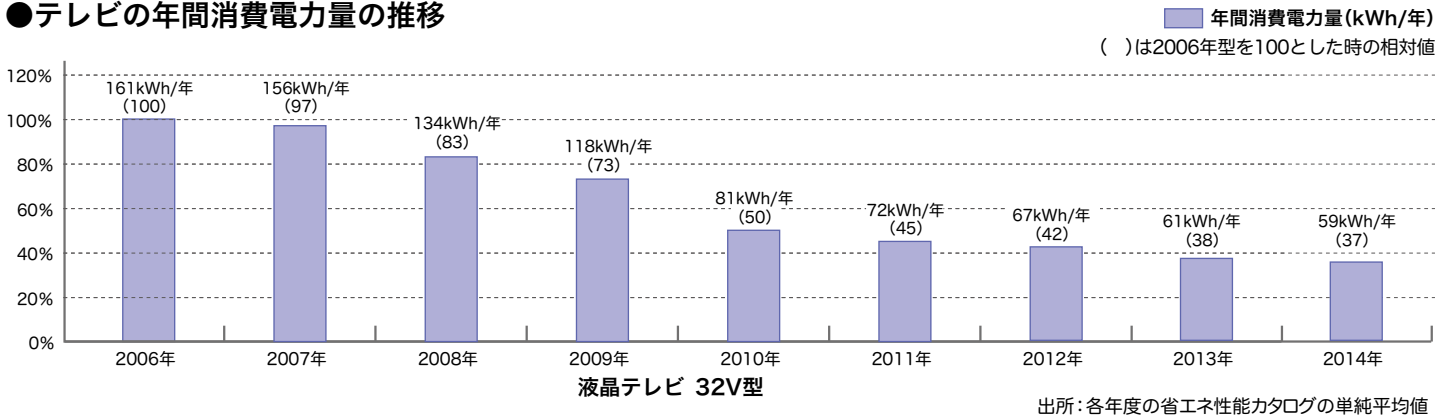
待機時消費電力の小さい製品が増えてきている。

近年、待機時消費電力が削減された製品が増えてきています。待機時消費電力が1W以下やほぼ0Wという非常に省エネ性能が優れた製品も出てきています。

省エネ性能の推移

年間消費電力量は、1日あたりの平均視聴時間4.5時間、平均待機時間（EPG取得時間を含む）19.5時間を基準に算出したものです。

●テレビの年間消費電力量の推移



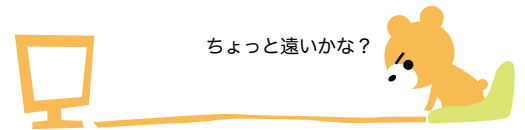
ライフスタイルに合わせて製品を選ぶ 3つのポイント

視聴距離は画面の高さの
3~4倍程度…



1. お部屋と製品のサイズは合っていますか？

製品を選ぶときは、一覧の区分を参考に、部屋の大きさや使い方に合わせてサイズ・区分を選びましょう。



ちょっと遠いかな？

音を大きくするのは
電力の無駄…



2. 今までと同じサイズで選んでいませんか？

省エネ性能カタログでは、製品毎に上手な選び方と上手な使い方をご紹介します。上手な使い方ができていないようならば、サイズや区分、機能が合っていないのかもしれません。



ライフスタイルに合わない気がする

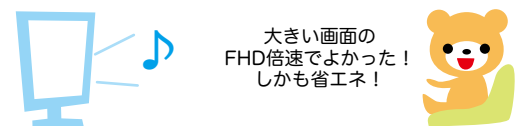
FHDは
フルハイビジョン…
倍速って？



3. 満足度も大事なポイント

一覧には、省エネ基準の算定に使用する特性や機能も表示されています。液晶テレビなら画素数、動画表示速度、待機時消費電力の3つは確認しておくと、製品の特徴をある程度把握できます。

製品のデザインや固有の特徴は、メーカーのカタログ等を参考にしてください。



大きい画面の
FHD倍速でよかった！
しかも省エネ！